

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	制作特論2	
科目基礎情報					
開設学科	CG映像科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	実習
教科書/教材	適宜資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	藤原 隆洋		実務経験の有無・職種	有・立体アーティスト	
学習目的					
本科目では一般教養としての芸術・美術を学ぶ。 CGやイラストなどの表現手法が歴史の中でどのように成り立っていったのかを美術史を通じて知り、 絵画、彫刻、デザイン、工芸、建築、現代美術までの様々な表現の知識を有することで今後の制作活動がさらに有用になる。 造形学では知識を得るだけでなくそれぞれの表現手法に則った実技を行い、芸術・美術についての基礎知識と技能を確立する。					
到達目標					
美術についての基礎知識を養い、様々な表現手法についての理解を深めることにより 作品を作る意図や、狙いを見る目を鍛え、それを実践の場でも活かし自己の制作物の表現の幅を広げる。					
教育方法等					
授業概要	芸術・美術のをジャンル毎に歴史、表現手法を紹介し それに沿った作品制作を課題毎に行う。				
注意点	好奇心を持って授業に取り組み、意欲を持って課題を制作すること。 各自の課題の進行状況により授業計画の変更がある。課題の提出期限を守らない場合は減点の対象となる。 授業時間以外の課題もあるので注意すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	完成した作品の完成度・課題への到達度について評価する		
	小テスト	0%	実施しない		
	レポート	0%	実施しない		
	成果発表 (口頭・実技)	0%	実施しない		
	平常点	20%	積極的な制作態度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ 4 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	授業内容紹介・絵画1		名画を鑑賞し、それに関連した絵画作品のレポートを作成する①		
2回	絵画1		名画を鑑賞し、それに関連した絵画作品のレポートを作成する②		
3回	絵画2		絵画史を学び異なる年代の作品を組み合わせる新たな絵画を制作する①		
4回	絵画2		絵画史を学び異なる年代の作品を組み合わせる新たな絵画を制作する②		
5回	デザイン1		グラフィックデザインを学び、それを基にパッケージデザインを行い版画制作を行う。①		
6回	デザイン2		グラフィックデザインを学び、それを基にパッケージデザインを行い版画制作を行う。②		
7回	デザイン3		グラフィックデザインを学び、それを基にパッケージデザインを行い版画制作を行う。③		
8回	空間芸術		パブリックアートや建築、彫刻からオブジェまで実生活に関係する空間芸術について学習する。		
9回	空間芸術/建築		建築を鑑賞し、理想の家の建築模型を制作する。		
10回	空間芸術/彫刻		彫刻を通し空間芸術を学び、建築課題で制作した建築模型に配置するミニチュアを制作する。		
11回	立体芸術/工芸		工芸のジャンルの違いを理解し実践する。		
12回	現代美術1		一見難解に思われる現代美術を美術史を通しその成り立ちを知り、実践する。①		
13回	現代美術2		一見難解に思われる現代美術を美術史を通しその成り立ちを知り、実践する。②		
14回	現代美術3		一見難解に思われる現代美術を美術史を通しその成り立ちを知り、実践する。③		
15回	現代美術4		一見難解に思われる現代美術を美術史を通しその成り立ちを知り、実践する。④		